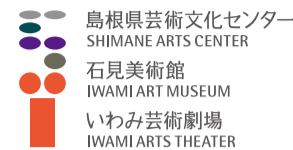


Grand Toit News

グラントワニュース

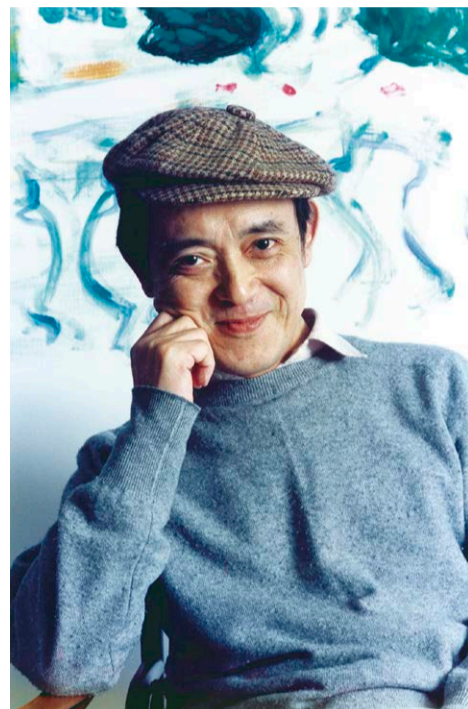
vol. 78
Summer 2024



企画展紹介 「『伝説のアートディレクター』の幅広い仕事と、魅力たっぷりの絵本原画の世界」
劇場事業紹介 「劇団四季『ジーザス・クライスト＝スーパースター』[エルサレム・バージョン]」

●特集 演劇のおもしろさを見つけよう！
演劇つくろう！
グラントワ演劇工房
●「グラントワのおすすめ」
大西順子カルテット
Supported by Blue Note Tokyo

お盆も休まず開館！



堀内誠一 写真提供：堀内事務所 © Seichi Horiuchi

「伝説のアートディレクター」の幅広い仕事と、魅力たっぷりの絵本原画の世界

企画展「堀内誠一 絵の世界」について、担当学芸員の左近充直美さんにききました。

堀内誠一さんとは、どんな人ですか？

昭和時代を代表する伝説のアートディレクターでデザイナーです。創刊時から制作に携わった雑誌「anan」のほか「BRUTUS」「Olive」など数多くのロゴの制作やデザインを手がけたことで知られます。一方で『ぐるんぱのようちえん』『たろうのおでかけ』など生涯で約70冊の絵本を手がけ、魅力的な絵柄で人気を博した絵本作家でもありまし

た。ほかにもポスターのデザインや本の装幀、旅のガイドブックの著作など幅広い仕事をこなしました。

豊かな才能にあふれた人だったんですね。堀内さんが担っていた雑誌のアートディレクターやデザイナーとは、主にどんなお仕事なのですか？

戦後、特に1960年代から80年代は、様々な分野の雑誌が次々に誕生し、いわゆる雑誌メ

ディアの「黄金時代」と言われました。多くの若者が雑誌を買うことで、その時々々のファッションや流行などの新しい情報を取り入れていました。堀内誠一は、1932年に東京向島に生まれ、14歳で伊勢丹百貨店の宣伝課に入り、広告デザインの世界に従事します。それには広告デザイナー(当時「図案家」)だった父・治雄の存在と、その師匠・多田北鳥のスタジオで様々なデザインを見て育った環境などが少なからず影

響したようです。

堀内はデザイナーとしてだけでなく、雑誌の構成、編集といった紙面づくりを担う、エディトリアルデザインの才能に優れ、数多くの雑誌を手掛けるうちに評価が高まり、1970年に創刊した女性雑誌「anan」のアートディレクターに就任します。アートディレクターとは、雑誌づくりのビジュアル面の総括を担い、デザインチームの指揮をする仕事ですね。新しいライフスタイルを提案する企画や、斬新な頁構成を次々と取り入れ、雑誌の人気を高めました。

この展覧会ではどんな展示が見られるのですか？

若い頃に描いた初期の油彩画にはじまり、書籍の挿絵や雑誌のイラストレーションなど、堀内のデザインや雑誌の仕事の資料。そして1974年から7年間滞在したフランスで、パリの風景を描いたスケッチ画。また、1987年に54歳で亡くなるまで交流のあった、多くの友人たちの手紙なども展示します。そしてもちろん、堀内

た絵本の原画もたっぷりと紹介します。彼自身「絵本作家の道こそ運命が決めた本命」と語っており、自由な創作性と可能性に満ちた絵本の仕事を生涯大切にしました。丁寧な取材をもとに描いた、大人も子供も大好きな絵本『ぐるんぱのようちえん』や『雪わたり』『おやゆびちゃん』など、構図や画風、使う画材も絵本によって変化させており、独自の工夫が光っています。特にその生き生きとした線や色、原画の美しさは必見です。

約200点と数は多いですが「隅々まで」見ていただきたい展覧会です。会期中、記念講演会やワークショップ、ミュージアの音楽プログラムなど、堀内誠一の世界にふれられる楽しいイベントも予定しています。こちら



『ぐるんぱのようちえん』1965年 福音館書店 © Seichi Horiuchi

堀内誠一

Seichi Horiuchi 絵の世界

©Seichi Horiuchi

2024年7月6日(土) ▶ 9月2日(月)

開館時間：9:30-18:00 (展示室への入館は17:30まで)
休館日：毎週火曜日 (8月13日は開館)

主催：島根県立石見美術館/しまね文化振興財団/山陰中央新報社/TSKさんいん中央テレビ
特別協力：堀内事務所 協力：福音館書店/マガジンハウス 企画協力：アートキッチン
後援：芸術文化とふれあう協議会

観覧料：当日券 | 一般：1000(800)円 / 企画・コレクション展セット1150(920)円
大学生：600(450)円 / 企画・コレクション展セット700(530)円
小中高生：300(250)円 / 企画・コレクション展セット300(250)円
前売券 | 企画・コレクション展セット900円

●()内は、20名以上の団体料金 ●小中高生の学校利用は入場無料
●各種障がい者手帳、検閲者健康手帳をお持ちの方、およびその介助者(1名までは入場無料)
●前売券はローソン各店(コード:03979)、グラントワ総合案内カウンターおよびオンラインチケットシステム(WEBSITE)でお求めになります。
*ローソン各店、グラントワ総合案内カウンターでの前売券のお取り扱い開始は開館前日となります。

島根県立石見美術館
島根県芸術文化センター「グラントワ」内

関連プログラム

記念講演会「絵を愛した父」
日時：7月6日(土) 14:00-15:30 会場：講義室
トーク：堀内花子(作家長女、通訳・翻訳家、堀内事務所代表)
聞き手：林 綾野(本展企画者、アートキッチン代表)
申込不要 / 先着40名 / 聴講無料
*観覧券またはミュージアムパスポートが必要

ワークショップ「豆本をつくってみよう」
日時：8月11日(日・祝) 14:00-16:00 会場：講義室
講師：堀内紅子(作家次女、翻訳家、保育士)
対象：どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
要申込 / 先着20名 / 参加無料
*観覧券またはミュージアムパスポートが必要

お申し込みはこちらから▶
申込フォーム | <https://ws.formzu.net/fgen/S832898995/>
申込受付開始 | 7月7日(日) 9:00~
*定員になり次第、締め切ります



【ストーリー】圧政に苦しみ、救世主の到来を待ち望むユダの民の前に彗星のように現れた一人の青年「ジーザス」。新しい教えを説くジーザスの言葉に人々は目を輝かせ、彼こそ救世主＝神の子だと讃えるが、権力者たちはジーザスの人気におののき、彼を弾圧しようとする。様々な思惑が絡み合い、ジーザスの運命は十字架へと歩みを進める。

イスラエルの荒野が舞台上に出現
劇団四季では、「ジャポネスク・バージョン」と「エルサレム・バージョン」の2つの演出版で上演されてきました。今回上演する「エルサレム・バージョン」は、日本的様式美の要素を取り込んだ「ジャポネスク・バージョン」とは打って変わり、大胆なまでにあらゆる装飾を削り取り、イスラエルの荒野を急傾斜の舞台で再現。リアリズム美を極限まで追求した演出は高い評価を得て、1976年に芸術選奨文部大臣賞を受賞しました。

現代のモーツァルト、ロイド＝ウェバー 衝撃のデビュー作
『ジーザス』は、『キャッツ』『オペラ座の怪人』などを作曲したアンドリュー・ロイド＝ウェバーが、世界のミュージカル界へデビューした作品です。作詞は『ライオンキング』『美女と野獣』のティム・ライス。当時22歳と26歳の若き天才の出現に、世界中が驚きました。数々の大ヒットの先駆けが『ジーザス』なのです。グラントワでは7年ぶりとなる劇団四季の公演。イスラエルの荒野を舞台に、名曲の数々と迫力のダンスによって綴られていく濃密な人間ドラマをお見逃しなく。

キリスト最後の7日間に迫るミュージカル
『ジーザス・クライスト＝スーパースター』は、イエス＝キリストが十字架にかけられるまでの最後の7日間を、ロックの旋律で綴ったミュージカルです。1971年にブロードウェイにて初演。従来の神格化されたキリスト像を覆し、一人の人間として苦悩するキリストを赤裸々に描いた作品は、演劇界に衝撃を与えました。権力者の思惑。苦悩の果てのユダの裏切り。マグダラのマリアの献身的な愛。移ろいやすい民衆の心。物語はさまざまな熱い想いととも展開し、ジーザスの運命は十字架へと歩みを進めます。



撮影：上原タカシ

劇団四季 『ジーザス・クライスト＝スーパースター』

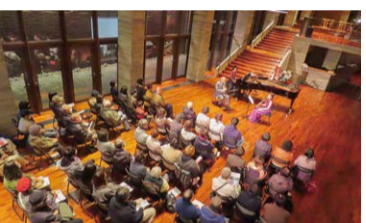
7年ぶりに劇団四季がグラントワへ！
イエス＝キリストを一人の苦悩する若者として
赤裸々に描いた、衝撃のロック・オペラ

LIFE with グラントワ

地域の魅力を伝える場所
グラントワに初めて訪れたのは16年前。このような美しい施設があることに驚きました。出雲市出身の私にとって、石見地方は、どこか「近くて遠い場所」と感じていて、そこにある文化や歴史などに触れる機会は少なかった様に思います。石州瓦を身に纏いグラントワが、私の中で石見をグッと

身近に引き寄せるきっかけになったように思います。
長年にわたってこの「グラントワニュース」の制作にデザイナーという立場で参加しています。夏号を作り始める頃には、桜が咲き始めます。季節の到来を本誌の制作を通じて感じる程に、すっかりなじみの仕事となっています。
芸術・文化の発信拠点であるグラントワ。開催される様々なイベントを、広報誌制作を通じて後押しできることに喜びを感じます。今後も私にとってグラントワが、地域の躍動感を感じ取れる場所であり続けることでしょう。
[柏村印刷株式会社 金山 敦]

PICK UP EVENT



いつでもどこでも音楽祭
2024年7月・12月(予定)
グラントワ館内

いわみ芸術劇場では、だれでも気軽に音楽などの芸術を楽しむ場として「いつでもどこでも音楽祭」(通称「いつどこ」)というミニコンサートを開催しています。大ホールホワイエや美術館ロビーなど、美術館と劇場というふたつの機能を持つ「グラントワ」ならではの空間を会場に、アーティストたちの演奏を無料でお楽しみいただけます。今年度は7月・12月に開催予定です。ふらりと来館された方でも自由に鑑賞いただけますので、ぜひ聴きにきてみてください。
[料金]鑑賞無料(申込不要・全席自由)
※詳しい情報は、随時グラントワHPに掲載します。

劇・場・を・探・る



【仕込み図】
舞台、音響、照明など、公演の準備をするために書かれた図面のこと。他のスタッフと意思疎通を図るための物でもあるため、音響、照明の機材などは、テンプレート(記号)を用いて、なるべく見やすく意図が伝わるように描く必要があります。昔は手書きでしたが、最近では図面ソフトを使って描くことが多くなりました。写真は、照明の仕込み図作成中です。
次回は「ケータリング」です。

Grand Toit
演劇
演劇のおもしろさを
みつけよう！
演劇
つくろう！
工房
成果発表公演
グラントワが取り組む演劇体験事業「演劇工房」の参加者が、5月から8月までの4ヶ月間ワークショップや稽古を重ねて挑む成果発表公演です。どうぞご期待ください！
2024年8月12日(月)・振替
いわみ芸術劇場小ホール
※開演時間、入場料、チケット発売日等の詳細は、決まり次第HP等でお知らせします。

劇団四季
四季ミュージカルの礎となった、唯一無二の舞台。
衝撃のロックオペラがグラントワへ！
キリスト最後の7日間を描く、
劇団四季ミュージカルの原点
『キャッツ』『オペラ座の怪人』を
手がけたミュージカルの巨匠、
A・ロイド＝ウェバーの不朽の名作
JESUS CHRIST SUPERSTAR
ジーザス・クライスト＝スーパースター
【エルサレム・バージョン】
2024年8月22日(木)
いわみ芸術劇場大ホール
開場 17:45
開演 18:30
入場料 [全席指定・税込] ※未就学児入場不可
前売 S席 10,000円
A席 8,000円
B席 6,000円
5月26日(日) チケット発売
写真はこれまでの公演より 撮影：山之上雅信

あなたのまちで味わう芸術文化
グラントワ 館外公演事業
いわみ芸術劇場の大・小ホール再開後も、
文化芸術を楽しんでいただけることを目的に開催します。
鑑賞公演や芸術体験を開催！
グラントワ アウトリーチ事業
石見地域の学校や地域施設を中心に
芸術文化をお届けします。
各公演の日程、会場等の詳細は、決まり次第HP等でお知らせします

演劇つくろう！ グラントワ演劇工房



演劇の
おもしろさを
みつけよう！

グラントワが取り組む
演劇の体験事業「演劇工房」。
演劇に興味のある多様な世代が集まり、
声や身体を使った表現、朗読、演技など、
様々な体験を重ねてきました。

演劇分野の活性化・交流促進を目的として令和3年にスタートした演劇工房。これまで地元島根で長年にわたって演劇活動をしている講師 坂井陽介さんのもと、演劇を「まなぶ」「たのしむ」「つくる」場を目指し、定期的なワークショップを実施してきました。ワークショップの内容は、「ゲームを通して楽しく演技を体験」「朗読を楽しみながら自分らしい表現を見つけよう」など

様々。昨年度実施した「3日間でのリーディング公演をつくろう！」では、年齢や経験の異なる参加者がグループに分かれ、小作品を3本創り上げました。発表を観に来てくださったお客様に、よりよく伝えよう、楽しんでもらおうと、ニュアンスや動きを工夫し、追求していく姿は俳優そのもの。「演劇楽しい！」と目を輝かせる参加者の表情が印象的でした。

今年は小ホール公演にチャレンジ！ あなたもグラントワの舞台に立ってみませんか？

今年の演劇工房は5月からスタート。ワークショップや稽古を重ねて、8月に初めての「演劇工房参加者による小ホール有料公演」に挑みます。参加に演劇経験は問いません。初めての方も大歓迎ですので、興味のある方はぜひご参加ください。そして、年齢や経験を超えて集まった演劇工房の仲間たちがどんな舞台を創るのか。どうぞご期待ください。

■参加申込み方法

グラントワホームページまたはQRコード先の申し込みフォームから必要事項を入力の上、お申込みください。



Grand Toit's RECOMMENDATION

グラントワのおすすめ



大西順子カルテット
Supported by Blue Note Tokyo

東京・南青山のジャズクラブの名店「ブルーノート東京」サポートにより、大西順子カルテットの島根初公演が決定しました。

ジャズの本場で歴史に残るレジェンド達との共演で培われた大西順子の強靱なピアノリズム。伝統を大事にしながら常に新たな挑戦に挑み、2013年には小澤征爾の熱烈な誘いを受けてサイトウ・キネン・オーケストラと共演、大きな話題となりました。

大西が率いるカルテットには井上陽介（ベース）、吉良創太（ドラムス）、大儀見元（パーカッション）という日本屈指のプレイヤー達が揃い、信頼に裏打ちされた熱いセッションが展開。疾走感、イメージーション溢れる演奏は一瞬たりとも聞き逃せません。

当日は益田駅前のジャズバーの老舗「マルフク」の出店も。美味しい料理やドリンクも併せてお楽しみください。

大西順子 ONISHI JUNKO

1967年京都生まれ。東京に育つ。89年にパーカー音楽学校卒業後、ニューヨークを拠点に活動を開始。ベティ・カター、ジョー・ヘンダーソン、ジャッキー・マクリーンら伝説のミュージシャンと共演を果たす。93年にデビュー・アルバム『WOW』を発表。翌年にはセカンド・アルバム『クルージン』が米ブルーノートより発売されたほか、名門ジャズクラブ「ウィレッジヴァンガード」に日本人として初めて自己のグループで出演するなど輝かしいキャリアを築き、圧倒的な存在感でファンを魅了している。

みさ 美術館に よいて



三浦紫腕
《孔雀図屏風》
1834(天保3)年

コレクション展
「津和野藩の絵師たち」
6月27日(木)～8月5日(月)
会場:展示室A

コレクション展「津和野藩の絵師たち」について、
担当学芸員の角野広海さんにきいてみました。

Q1. 今回はどんな画家が紹介されるのでしょうか。

江戸時代の津和野藩（現在の島根県津和野町）のお抱え絵師たちを紹介し、日本で最も代表的な絵の流派・狩野派の系譜に連なる岡野洞山美高（1770～1856）、写実的で鮮やかな花鳥画を得意とした三浦紫腕（1773～1856）、わたなべ かん づばちんざん 渡辺華山・椿椿山に学んだ文人画家である山本葉谷（1811～1873）などを紹介します。

Q2. おすすめの一点を教えてください。

《孔雀図屏風》（挿図）は、三浦紫腕が数え62歳の時に描いた作品です。大きな松の下の水辺に、番の孔雀と牡丹の花が描かれています。孔雀は濃彩により細部まで写実的に描かれていますので、ぜひ展示室でご覧ください。

The 石見美術館 わたしのおすすめ Collection

学芸課長 南目美輝

19世紀のイギリス、フランスでは、鉄道が整備されたことにより都市から地方への移動が容易となり、一般市民が療養のため、あるいは気晴らしなど娯楽として海辺へ出かけるようになりました。都市の住民が余暇のために集う海辺が「リゾート地」として開発されていくのもこの頃のことです。

この水浴着は20世紀初めに作られたものです。注目したいのは、本品が、ブルーマー、つまり脚のかたちが分かるズボン型



《水浴着》

1910年頃 濃紺のウール 当館蔵

となっていて、この上に着用するように共布でスカートがついている点。ズボンの上にスカートをつけることを前提としたこの水浴着から、当時女性が脚を出して海辺で過ごす、というふるまいは一般的ではなかったと想像できます。

Junko Onishi Quartet

2024年
9月28日(土)
いわみ芸術劇場
大ホール
開場14:15 / 開演15:00

Supported by Blue Note Tokyo

大西順子カルテット

世界中の音楽ファンから注目を浴びる
ジャズ・ピアニスト大西順子と日本屈指の
名プレイヤーが奏でる熱いカルテットのステージ。
是非この機会にご堪能ください！

入場料(全席指定・税込) [一般前売] 4,500円
※18歳以下ご招待あり。詳しい情報は、グラントワホームページをご覧ください。

6月22日(土)
チケット発売

観に
レビュー

Quartet

石見美術館コレクション展

展示室
A

コレクション展 津和野藩の絵師たち
6月27日(木)～8月5日(月)
※「美術館にきてみよう」参照

コレクション展 髪を結う
8月7日(水)～9月7日(土)
髪型に注目して当館所蔵の女性像を紹介します。
時代やシチュエーションによって変化する
「おしゃれ」をお楽しみください。

北野恒富(むすめ)
1925年

展示室
B

コレクション展 印刷物の中の森英恵
6月5日(水)～7月22日(月)

コレクション展
スポーツとファッション
7月24日(水)～9月7日(土)
※「The Collection わたしのおすすめ」参照

森英恵流行通信
特集
シヨトスカート
1966年

展示室
C

コレクション展
ファッションプレートと日本の大正・
昭和のイラストレーション
6月23日(日)まで開催中

コレクション展 不可思議な絵とたち
6月27日(木)～9月7日(土)

澁川喜一
《そりのあるかたち》
制作年不詳

・雑誌編集、イラスト、人形作り、ファッションなど異なる分野にまたがる仕事のどれもが素晴らしい！生涯111年目のことですが、時代を超える仕事とは、まさにこのような仕事のことを言うのだと感じました。(益田市・40代/企画展「111年目の中原淳一」)
・益田でこんなにも有名な俳優さんたちの演技が観られたこと、本当に幸せでした。ありがとうございました！今後も、このような素晴らしい演劇に触れられる機会があることを期待しています！(益田市・20代/「大誘拐」～四人で大スペクタクル～)
・たまたまグラントワに来館した際に開催していたので鑑賞させていただきました。ピアニストの岩瀬貴浩さんと益田市出身というオーボエ奏者の山本直人さんによる演奏の音色は本当に素敵でした！(浜田市・30代/いつでもどこでも音楽祭「GARDEN WINDS コンサート」)

Grand Toit & / リレーでコラム 12

朝山百合香 (グラントワ総務担当)

毎号、職員がコラムで繋ぐ「リレーでコラム」。
第12回は、グラントワ元総務担当の朝山百合香さんです。

「2024年の春です。美術館では展覧会、劇場ではコンサートや楽しい催物で皆様をお待ちしています。」

などともっともらしく書いていますが、いまは人事異動によりグラントワを離れております。3月まで石見美術館の総務を主に担当していました。グラントワはその建物自体が大きな特徴の一つです。昨年秋には設計者である建築家・内藤廣さんの展覧会が開催されました。思う以上にこの建物の中にたくさんのこだわりが詰められていることに驚いたのを覚えています。県外含めたくさんのお客様がいらっしゃった様子に、改めて建物自体が素晴らしい作品なのだ実感したところでした。

それと同時に、現在の姿を保つため多くのスタッフやボランティアの方々の努力により維持されていることも強く感じました。

最後に、2月に新たにできたおすすめポイントをご紹介します。澄川喜一先生の彫刻作品が新たに設置されました。「おつきさま」という題名です。先生のお気に入りだったと聞いております。西エントランスを出たところにありますのでぜひ足を運んでいただけたらと思います。

19年目のグラントワが始まっています。来年には開館20周年が控えており、こちらについても楽しみにしているところです。



グラントワ正面エントランス周りの風景

今回は川茂伸さん(舞台技術振興課主任)の予定です。

報告します!

企画展「石見特別版 永田コレクションの全貌公開(一章)」
北斎『春朗期』『宗理期編』
関連プログラム
ワークショップ「北斎ステンシルで作るハーフ手ぬぐい」



当日の様子

企画展「北斎『春朗期』『宗理期編』」では、北斎の描いた挿絵を型染めして、オリジナルの手ぬぐいを作るワークショップを行いました。1月13日(土)と14日(日)の二日間、両日とも5回の時間帯に分けて実施しました。

子供から大人まで計77名の参加者が、有名な波の絵柄をはじめ人物、花鳥、和柄の紋様など、北斎の様々な絵柄を好みの色でデザインしました。各回とも参加者の個性あふれる素敵な手ぬぐいが出来上がりました。出来上がった手ぬぐいを、参加者どうしで見比べて楽しむ場面も見受けられました。

参加者の感想

楽しかったです。子どももかんたんにできて良かったです。ハンコもほくさいの可愛い柄がいっぱいで萌えました。(益田市・30代)

『グラントワ弦楽合奏団 第11回定期演奏会』開催



当日の様子

当日は天気にも恵まれ約250名のお客様にお越しいただきました。グラントワホールでの定期公演は3年ぶりとなったこの日、小学生から高校生までのアンサンブルチームM響の皆さんとの演奏、第2部では難曲である「弦楽セレナーデ」全曲演奏に初挑戦しました。弦楽の魅力堪能していただけた一日となりました。

参加者の感想

好きな曲ばかりでしたので、とても楽しめました。2つのヴァイオリンの3楽章、ソリストの方の音が重なり合って響きがとてもきれいでした。弦楽四重奏は音に厚みがあって、とても素敵でした。(川本町・50代)

はみ出し情報

■総合案内カウンター

営業日変更のお知らせ

7月1日(月)より、毎週火曜日は総合案内カウンターが休業となります。美術館観覧券、劇場チケットのご購入は「シマチケ(WEBチケット販売)」もご利用ください。

グラントワ通への道

Q. 最近、新たに野外彫刻が設置されたと聞いたのですが、本当ですか?

A. 本当です。高さ110cm・半円形の黒御影石の彫刻で、西エントランス出入口付近に設置しました。タイトルは《おつきさま》(1995年)。当センター長を長く務めた彫刻家・澄川喜一(1931-2023)の作品です。正面玄関と美術館中庭の2点の野外彫刻《OROCHI》とともにご愛顧ください。



編集後記

■劇団四季のミュージカル『ジーザス・クライスト=スーパースター』はこの夏にぴったり!ロックオペラにのせて熱い舞台となることでしょう。[T.Y]

■皆さんは「ぐるんぱのようちえん」を読んだことはありますか?大人にも気づきを与えてくれる絵本の世界をこの機会にどうぞお楽しみください。[S.N]

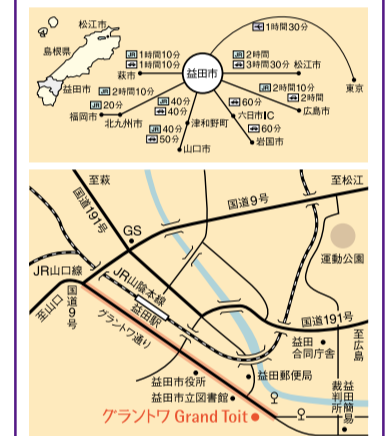
■これを書いているのは4月ですが、春はあつという間におわり、真夏日になる日も。皆さん熱中症に備えて、たのしい夏を過ごしましょう~ [K.N]

■洗顔フォームと間違えて、歯磨き粉を手のひらに絞り出す。過ちに気付くと同時に、手のひらにある形状そのままを歯ブラシへと乗せ替える。[I.T]

INFORMATION

■開館(利用)時間
※グラントワは8:45から開館
石見美術館 9:30~18:00
(展示室への入場は閉館30分前まで)
いわみ芸術劇場 9:00~22:00

■休館日(祝日の場合開館、翌平日休館)
※催しに合わせて休館日を変更する場合があります。
石見美術館 毎週火曜日、年末年始
いわみ芸術劇場 第2・第4火曜日、年末年始
※2024年8月13日(火)は臨時休館
※2024年8月20日(火)は全館休館



交通案内
◎石見交通バス「グラントワ前」下車徒歩1分
◎JR益田駅から徒歩15分
◎秋・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分
◎浜田自動車道浜田ICから自動車約50分
◎JR新山崎駅から益田駅まで特急約90分

グラントワ Grand Toit
島根県芸術文化センター「グラントワ」
〒698-0022 益田市有明町5-15
TEL: 0856-31-1860(代表)
FAX: 0856-31-1884(代表)
e-mail: grandtoit@cul-shimane.jp
www.grandtoit.jp



読者プレゼント

ミュージアムショップ
コン・アモール
セレクトグッズ
詰め合わせセット
3名様にプレゼント!



毎号抽選でチケットやオリジナルグッズなどをプレゼントします。ぜひご応募ください!

■申込方法 ご希望の方は、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、本号の「Grand Toit News」の感想をご記入の上、6月30日(日)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailのいずれかでご応募ください。【あて先】〒698-0022 益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」『Grand Toit News vol.78 読者プレゼント』係・FAX: 0856-31-1884・e-mail: g-present@cul-shimane.jp ※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

ビアホール オープン!! 2024 Beer Hall!

美味しいビールと料理をお楽しみください

90分 飲み放題 + シェフ おまかせ料理

お一人様 5,500円(税込)

【時間】18:00~21:00(21:30に閉店します)
【期間】7月3日(水)~8月31日(土)まで【休み】毎週火曜日(応相談)
※予約制となっております。※4名様より承ります。※当日のキャンセルは承りません。

Restaurant Pony
www.restaurant-pony.com/

今年もやります! コン・アモール 夏限定企画

駄菓子フェア 2024

販売期間 7月1日(月)~9月30日(月)まで

「懐かしいなあ」とほっこりするような駄菓子と共にスタッフ一同、皆様をお待ちしております。ぜひお越しください!

堀内誠一 絵の世界
【期間限定販売】7月6日(土)~9月2日(月)

企画展「堀内誠一 絵の世界」にちなんで関連グッズを期間限定で販売いたします。展覧会とあわせてお楽しみください。

MUSEUM SHOP con amore
www.grandtoit.jp/shop/

Follow Us! 最新の情報をいち早くお知らせ

「グラントワ」公式 Facebook @grandtoit.jp

「石見美術館」公式 Instagram @iwamiartmuseum

「グラントワ」公式 X @grand_toit

「グラントワ」公式 YouTube @grandtoit

「石見美術館」で開催されるバラエティ豊かな展覧会や関連プログラム、「いわみ芸術劇場」で開催されるコンサート、演劇、イベント情報をはじめ、「グラントワ」に関する様々な最新情報を随時更新中。

東京(羽田) ⇄ 萩・石見 90分

鳥根県益田市にある 萩・石見空港を使って お出かけしよう!

フライト情報、交通アクセス、運賃助成制度など、詳しくは「萩・石見空港」HPをご覧ください。

大阪季節便もご利用ください
大阪(伊丹) ⇄ 萩・石見 60分
※2024年8月10日~8月14日の5日間運行

萩・石見空港 メールマガジン 配信中

メルマガ登録者限定のお得な運賃助成(スポット助成)のほか、萩・石見空港に関するお得情報をお届けします。

お問合せ 萩・石見空港 利用拡大促進協議会
TEL 0856-23-0990 萩・石見空港